



2021年3月期 第3四半期決算短信〔日本基準〕（連結）

2021年2月9日

上場会社名 OUGホールディングス株式会社 上場取引所 東
 コード番号 8041 URL <https://www.oug.co.jp/>
 代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 勝田 昇
 問合せ先責任者 (役職名) 執行役員経営基盤グループ担当 (氏名) 山田 稔 TEL 06-4804-3033
 四半期報告書提出予定日 2021年2月10日 配当支払開始予定日 ー
 四半期決算補足説明資料作成の有無： 無
 四半期決算説明会開催の有無： 無

(百万円未満切捨て)

1. 2021年3月期第3四半期の連結業績（2020年4月1日～2020年12月31日）

(1) 連結経営成績（累計）

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する 四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2021年3月期第3四半期	229,021	△8.3	1,358	△33.1	1,550	△28.6	1,069	△38.1
2020年3月期第3四半期	249,796	△0.4	2,031	△14.1	2,170	△12.8	1,727	△0.5

(注) 包括利益 2021年3月期第3四半期 1,349百万円 (13.4%) 2020年3月期第3四半期 1,189百万円 (△32.5%)

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
2021年3月期第3四半期	192.60	—
2020年3月期第3四半期	311.21	—

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円 銭
2021年3月期第3四半期	92,723	22,007	23.7	3,965.38
2020年3月期	70,414	20,992	29.8	3,782.19

(参考) 自己資本 2021年3月期第3四半期 22,007百万円 2020年3月期 20,992百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2020年3月期	—	0.00	—	60.00	60.00
2021年3月期	—	0.00	—		
2021年3月期（予想）				60.00	60.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無： 無

3. 2021年3月期の連結業績予想（2020年4月1日～2021年3月31日）

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属 する当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	295,000	△7.8	500	△65.3	700	△56.8	450	△62.3	81.08

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無： 有

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動（連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動）： 無

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用： 無

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 無
- ④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数（普通株式）

① 期末発行済株式数（自己株式を含む）	2021年3月期3Q	5,562,292株	2020年3月期	5,562,292株
② 期末自己株式数	2021年3月期3Q	12,300株	2020年3月期	11,830株
③ 期中平均株式数（四半期累計）	2021年3月期3Q	5,550,257株	2020年3月期3Q	5,551,041株

※ 四半期決算短信は公認会計士又は監査法人の四半期レビューの対象外です

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

（将来に関する記述等についてのご注意）

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、添付資料3ページ「1. 当四半期決算に関する定性的情報（3）連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	3
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記	4
(1) 四半期連結貸借対照表	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	5
四半期連結損益計算書	
第3四半期連結累計期間	5
四半期連結包括利益計算書	
第3四半期連結累計期間	6
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	7
(継続企業の前提に関する注記)	7
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	7
(追加情報)	7
(セグメント情報)	8

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当第3四半期連結累計期間におけるわが国経済は、新型コロナウイルス感染拡大により大きく停滞した経済活動は徐々に再開され、輸出、生産活動には持ち直しの動きがみられるものの、設備投資、雇用・所得環境、個人消費の回復は鈍く、依然として厳しい状況にあります。また、先行きは、新型コロナウイルスの収束に兆しがみえず、不透明な状況にあります。

消費者心理は、雇用・所得環境など経済情勢の先行き不透明感から極めて厳しい状況にあります。また、消費者の購買行動は、新型コロナウイルス感染防止から人との接触を控える行動様式が続き、食料品などの日用品購買が中心になっていますが、節約志向は依然として続いています。

水産物流通業界におきましては、新型コロナウイルス感染防止に伴う世界的な行動自粛などの影響により、内食関連需要は一部伸長するものの、外食・ホテル・インバウンド関連需要や輸出の回復は鈍く、加えて業種・業態の垣根を越えた販売競争が繰り広げられるなど、極めて厳しい経営環境下にありました。

このような環境にあって、当社グループは、全体最適のグループ経営のもと、販売力・調達力の強化、顧客起点志向の追求、地域に対応したソリューションの提供、業務の効率化、諸経費の削減などに注力し積極的な事業活動を展開してまいりました。

当第3四半期連結累計期間の経営成績は、売上高は229,021百万円（前年同四半期比91.7%）となりました。損益面では、売上総利益は16,903百万円（前年同四半期比91.9%）となり、営業利益1,358百万円（前年同四半期比66.9%）、経常利益1,550百万円（前年同四半期比71.4%）、親会社株主に帰属する四半期純利益1,069百万円（前年同四半期比61.9%）となりました。

セグメントごとの経営成績は次のとおりであります。

<水産物荷受事業>

中央卸売市場を核とする集荷販売機能をもつ水産物荷受事業は、内食関連の需要は堅調な一方、外食関連の需要の減少や販売単価の低下により、売上高145,056百万円（前年同四半期比93.4%）となりましたが、売上総利益率の上昇および間接経費全般の節減によりセグメント利益1,648百万円（前年同四半期比183.4%）となりました。

<市場外水産物卸売事業>

全国各地を網羅する販売拠点を活かした幅広い流通網をもつ市場外水産物卸売事業は、量販店関連の販売が増加した一方、外食・ホテル関連の販売が大きく減少したことおよび販売単価の低下により、売上高84,209百万円（前年同四半期比90.8%）、セグメント損失289百万円（前年同四半期はセグメント利益439百万円）となりました。

<養殖事業>

九州、四国にて、ハマチ、ブリ、マグロの養殖を展開する養殖事業は、外食・輸出関連の需要が大きく減少し、供給過多による販売単価の低下から、売上高6,886百万円（前年同四半期比95.1%）、セグメント利益47百万円（前年同四半期比9.3%）となりました。

<食品加工事業>

消費地にある食品加工センターでの水産加工、量販店向けの米飯加工、カット野菜加工、飲食事業者向けの加工・調理サービスなどを行う食品加工事業は、内食関連の販売は堅調でありましたが、外食・ホテル・ブライダル関連の販売が大きく減少したことにより、売上高3,403百万円（前年同四半期比89.3%）、セグメント損失108百万円（前年同四半期はセグメント損失82百万円）となりました。

<物流事業>

物流センターにおいて、搬入された水産物等を量販店等の配送先別に仕分け、自社便にて配送を行う物流事業は、内食・ギフト関連の需要が堅調であったことにより、売上高1,492百万円（前年同四半期比100.7%）、セグメント利益16百万円（前年同四半期はセグメント損失25百万円）となりました。

<その他>

グループの水産物流通を補完するリース事業等その他は、売上高2,756百万円（前年同四半期比67.4%）、セグメント損失75百万円（前年同四半期はセグメント利益157百万円）となりました。

(2) 財政状態に関する説明

当第3四半期連結会計期間末における総資産は、前連結会計年度末と比べて22,308百万円増加し、92,723百万円となりました。増加の主な要因は、受取手形及び売掛金の増加16,988百万円、たな卸資産の増加4,026百万円によるものであります。

負債は、前連結会計年度末と比べて21,293百万円増加し、70,715百万円となりました。増加の主な要因は、支払手形及び買掛金の増加13,782百万円、借入金の増加7,056百万円によるものであります。

純資産は、前連結会計年度末と比べて1,014百万円増加し、22,007百万円(自己資本比率23.7%)となりました。増加の主な要因は、利益剰余金の増加757百万円、その他有価証券評価差額金の増加241百万円によるものであります。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

2020年8月12日に公表いたしました連結業績予想を修正いたしました。なお、詳細につきましては、本日公表いたしました「通期業績予想の修正に関するお知らせ」をご参照下さい。

2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (2020年3月31日)	当第3四半期連結会計期間 (2020年12月31日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	2,147	3,175
受取手形及び売掛金	25,918	42,906
商品及び製品	23,783	27,840
仕掛品	0	0
原材料及び貯蔵品	285	254
その他	613	797
貸倒引当金	△97	△140
流動資産合計	52,650	74,834
固定資産		
有形固定資産	11,285	11,341
無形固定資産	308	381
投資その他の資産		
投資有価証券	4,413	4,769
その他	2,082	1,672
貸倒引当金	△324	△275
投資その他の資産合計	6,170	6,166
固定資産合計	17,764	17,888
資産合計	70,414	92,723
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	17,845	31,628
短期借入金	14,469	21,477
1年内返済予定の長期借入金	3,071	2,899
未払法人税等	267	117
賞与引当金	718	359
その他	3,308	4,322
流動負債合計	39,681	60,804
固定負債		
長期借入金	6,430	6,652
退職給付に係る負債	2,472	2,435
役員退職慰労引当金	128	117
その他	709	705
固定負債合計	9,740	9,910
負債合計	49,421	70,715
純資産の部		
株主資本		
資本金	6,495	6,495
資本剰余金	6,090	6,090
利益剰余金	8,455	9,212
自己株式	△27	△28
株主資本合計	21,013	21,769
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	718	960
繰延ヘッジ損益	8	0
土地再評価差額金	△443	△464
退職給付に係る調整累計額	△304	△258
その他の包括利益累計額合計	△21	237
純資産合計	20,992	22,007
負債純資産合計	70,414	92,723

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書
(四半期連結損益計算書)
(第3四半期連結累計期間)

(単位:百万円)

	前第3四半期連結累計期間 (自 2019年4月1日 至 2019年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自 2020年4月1日 至 2020年12月31日)
売上高	249,796	229,021
売上原価	231,402	212,118
売上総利益	18,394	16,903
販売費及び一般管理費	16,362	15,545
営業利益	2,031	1,358
営業外収益		
受取利息	2	3
受取配当金	116	113
その他	196	235
営業外収益合計	315	352
営業外費用		
支払利息	149	130
その他	26	29
営業外費用合計	176	160
経常利益	2,170	1,550
特別利益		
固定資産売却益	331	—
受取保険金	7	65
特別利益合計	338	65
特別損失		
災害による損失	60	—
固定資産売却損	—	18
投資有価証券評価損	—	4
特別損失合計	60	22
税金等調整前四半期純利益	2,448	1,593
法人税、住民税及び事業税	430	281
法人税等調整額	290	243
法人税等合計	720	524
四半期純利益	1,727	1,069
親会社株主に帰属する四半期純利益	1,727	1,069

(四半期連結包括利益計算書)
(第3四半期連結累計期間)

(単位：百万円)

	前第3四半期連結累計期間 (自 2019年4月1日 至 2019年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自 2020年4月1日 至 2020年12月31日)
四半期純利益	1,727	1,069
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	△550	241
繰延ヘッジ損益	△5	△7
退職給付に係る調整額	18	46
その他の包括利益合計	△537	280
四半期包括利益	1,189	1,349
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	1,189	1,349
非支配株主に係る四半期包括利益	—	—

(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(追加情報)

(連結納税制度からグループ通算制度への移行に係る税効果会計の適用に関する取扱いの適用)

当社及び一部の国内連結子会社は、「所得税法等の一部を改正する法律」(令和2年法律第8号)において創設されたグループ通算制度への移行及びグループ通算制度への移行にあわせて単体納税制度の見直しが行われた項目については、「連結納税制度からグループ通算制度への移行に係る税効果会計の適用に関する取扱い」(実務対応報告第39号 2020年3月31日)第3項の取扱いにより、「税効果会計に係る会計基準の適用指針」(企業会計基準適用指針第28号 2018年2月16日)第44項の定めを適用せず、繰延税金資産及び繰延税金負債の額について、改正前の税法の規定に基づいております。

(新型コロナウイルスの感染拡大に伴う会計上の見積りについて)

新型コロナウイルスの感染拡大は、経済、企業活動に多大な影響を与える事象であり、また、今後の広がり方や収束時期等を予測することは困難であります。当社グループは、当第3四半期連結会計期間末時点で入手可能な外部情報等を踏まえて、今後2022年3月期までの一定期間にわたり当該影響が継続するものと仮定し、固定資産に関する減損損失の認識要否の判断及び測定、繰延税金資産の回収可能性等の会計上の見積りを行っております。

(セグメント情報)

I 前第3四半期連結累計期間(自 2019年4月1日 至 2019年12月31日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:百万円)

	報告セグメント						その他 (注) 1	合計	調整額 (注) 2	四半期 連結損益 計算書 計上額 (注) 3
	水産物 荷受事業	市場外 水産物 卸売事業	養殖事業	食品加工 事業	物流事業	計				
売上高										
外部顧客への 売上高	148,571	90,432	5,155	1,970	629	246,759	3,036	249,796	—	249,796
セグメント間 の内部売上高 又は振替高	6,685	2,285	2,083	1,842	852	13,751	1,053	14,804	△14,804	—
計	155,257	92,718	7,239	3,812	1,482	260,511	4,089	264,601	△14,804	249,796
セグメント利益 又は損失(△)	898	439	512	△82	△25	1,742	157	1,900	131	2,031

- (注) 1. 「その他」の区分は、報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、リース事業、水産物仲卸事業及び水産物小売事業等を含んでおります。
2. セグメント利益又は損失の調整額131百万円には、セグメント間取引消去620百万円、各報告セグメントに配分していない全社費用△488百万円が含まれております。全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない一般管理費であります。
3. セグメント利益又は損失は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

II 当第3四半期連結累計期間(自 2020年4月1日 至 2020年12月31日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:百万円)

	報告セグメント						その他 (注) 1	合計	調整額 (注) 2	四半期 連結損益 計算書 計上額 (注) 3
	水産物 荷受事業	市場外 水産物 卸売事業	養殖事業	食品加工 事業	物流事業	計				
売上高										
外部顧客への 売上高	138,571	81,912	4,534	1,534	637	227,191	1,830	229,021	—	229,021
セグメント間 の内部売上高 又は振替高	6,484	2,296	2,351	1,868	854	13,856	925	14,782	△14,782	—
計	145,056	84,209	6,886	3,403	1,492	241,047	2,756	243,804	△14,782	229,021
セグメント利益 又は損失(△)	1,648	△289	47	△108	16	1,313	△75	1,237	120	1,358

- (注) 1. 「その他」の区分は、報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、リース事業、水産物仲卸事業及び水産物小売事業等を含んでおります。
2. セグメント利益又は損失の調整額120百万円には、セグメント間取引消去531百万円、各報告セグメントに配分していない全社費用△411百万円が含まれております。全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない一般管理費であります。
3. セグメント利益又は損失は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。